

令和 7 年度 学校関係者評価実施報告書

学校番号	22	学 校 名	吉田特支駿遠分教室	記 載 者	杉本友紀乃
------	----	-------	-----------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
授 業	ア 「やりがいと手ごたえのある」授業の実践	・児童生徒は、それぞれにやりがいや手ごたえを感じて登校している。	A	A	・教員の「やりがと手ごたえ」と交錯して欲しい。 ・「意欲的、主体的、やりがい」とても良い。
	イ 地域と協働する教育課程の再編	・教員は、自分の担当単元の設定理由を明確に語ることができている。	A	A	・児童生徒の状況に合わせた体制と内容が組まれている。→アクティブラーニング等
	ウ 教職員の専門性の向上のためのシステム作り	・教職員は、授業準備や分掌業務に十分に組み込んでいる (前年度比) ・教職員は、自分の決めたテーマに沿った研修を進めている。	B A	B A	・トラブル対応は大事な指導なので、あっても A がつけられるシステム作りが必要。 ・トラブル等の記録が不十分。DX 化で、効率化をするほうが良い。 ・OJT 研修が良い。全体のモチベーション管理が大切。 ・学校は、「できるように・分かるように」してくれる有在としてのアタッチメント育成を期待している。
連 携	ア 児童生徒が主体的に取り組むキャリア教育の推進	・児童生徒が、自分の学習を振り返って記録する機会が継続できている。 ・保護者（学園）とも共有できている。	A	A	・キャリア＝なりたい自分、家族状況、ソーシャルワークを協働する
	イ 吉田町の特徴を生かしたコミュニティスクールの推進	・学校間交流、交流籍を活用した共同学習により、互いに成果を確認することができている。	A	A	・居住地校交流、学校間交流、校外学習など多様に展開されている。 ・積極的な交流が良い。 ・地域の図書館の活用も良い。 ・自分の好きな本の見つけ方を身につけてほしい。

様式第5号

	ウ 生涯教育につながる スポーツ・芸術・読 書活動の拡充	・一人一作品、作品 展への応募(校内 も可)ができてい る。 ・一人一スポーツ、 一冊以上、好きな ものがある。	A	A	・卒業後の支えになるような学び に展開してほしい。 ・具体的な活動も多く、良い。
安 心	ア 学校安全計画の更新 と自分の身を守る力 の育成	・児童生徒は自分の 命を守るための 行動がとれている。 ・教職員は、児童生 徒の安全に対す る想像力を働か せて、日々の業務 にあたっている。	A	A	・学校、学園それぞれで訓練があ り、児童生徒は経験が積み重なっ ている。 ・想定とコミュニケーションが取 れているので良い。
	イ 事故や大規模災害に 備えた危機管理体制 の強化	・児童生徒は自分の 命を守るための 行動がとれている。 ・教職員は、児童生 徒の安全に対す る想像力を働か せて、日々の業務 にあたっている。	A	A	・学校、学園の環境に合わせた危 機管理が協働できている。
	ウ 守るために学ぶ教職 員の育成	・教職員は人権感覚 を磨き、児童生徒 の見本となる行動 がとれている。	A	A	・先生たちの心も守らなければい けない。親も大変だが、先生も同 じく大変。簡略化できる所は簡略 化し、気持ちを保っていかないと いけない。がんばりましょう。